

丸亀町グリーン

瀬戸内国際芸術祭2022 県内周遊事業ハッシュタグキャンペーン
瀬戸内アートコレクティブ × 丸亀町グリーン

エンディングハマルデタイミング

塩田ing浜ルデ鯛ming

樋口 聡

展示期間 / 4月14日(木) ~ 5月18日(水)

【春会期】 樋口 聡 氏 「塩田ing浜ルデ鯛ming (エンディングハマルデタイミング)」

丸亀町グリーンでは、4月14日(木)よりスタートする3年に1度の現代アートの祭典、瀬戸内国際芸術祭2022の県内周遊事業の一環として、地域企業や行政等と瀬戸内の現代アーティストを結び付け、様々なコラボレーションやパブリックアートを手掛ける活動を幅広く行う「瀬戸内アートコレクティブ」のアーティストによるアートインスタレーションを開催。瀬戸内国際芸術祭2022春・夏・秋会期それぞれの期間毎に異なるアーティストによる作品を展示し、芸術祭を訪れる観光客はもちろん、地元香川の方にもアートの魅力や楽しさをお届けいたします。

【作品名】 塩田ing浜ルデ鯛ming

【展示期間】 2022年4月14日(木) ~ 5月18日(水)

【場所】 丸亀町グリーン けやき広場



Setouchi Art Collective
瀬戸内アートコレクティブ



※写真はイメージです



樋口 聡 プロフィール

1989 香川県生まれ
2017 大阪芸術大学油画専攻卒業
2022 現在、香川県立高松工芸高等学校美術科で教諭として勤務

●個展

2020 「(or not)」 minamo (香川)
2020 「砂埃あげて Rush while raising dust」 高松市美術館 (香川)
2019 「PLAY LIVE, PRAY LIFE」 仏生山古民家 (香川)

●グループ展

2022 「これから起きること」 Kinco. (香川) ※5/28-6/19 開催予定
2021 「a→g art to garden」 善通寺五岳の里 (香川)
2021 「高松工芸高等学校美術科教員作品展 キジバトの巣」 Share gallery 206 (香川)

樋口聡氏 作品展示に際してのコメント

「塩田ing浜ルデ鯛ming」

塩田が自由に営まれていた江戸時代には、瀬戸内のあちこちの塩田で濱焼きが盛んに作られていました。しかし、1905年に安く良質の塩をつくるための専売制度が始まると、濱焼きを作れなくなったのです。専売制度が見直される1997年までの92年間は濱焼きを継承し続けるには長すぎました。途絶えかけている濱焼きの文化をどうにか残していこうと、現在再び作り始めた人たちがいます。

私にはこの山あり谷ありな歴史が興味深く感じられたと同時に、その歴史に触れた途端、古い濱焼きの看板や濱焼きにまつわる話を自分が次々とキャッチできるようになったことに驚きました。そんな環境の変化に左右されてしまう文化や歴史がレトロなサッカーゲームのコマと重なりました。背中合わせのどちらが表なのか考えてしまうのです。

この作品はハンドル操作で絵柄を変化させる参加型の作品です。一台の盤面でオモテウラがあり、さらに、広場に置かれたすべての盤面を一つの大きな盤面とします。ハンドルを回すと絵柄が変わり、瀬戸内特産「鯛の濱焼き」や、海の生き物が現れます。中には浜辺に打ち上げられたゴミも。多数と少数が変化し続けるシチュエーションをあなたの選択で変えることができます。変えますか？見届けますか？エンディングはまるでタイミング次第です。



※写真はイメージです

《本件に関するお問い合わせ先》

丸亀町グリーン運営室 担当 : 藤本

TEL : 087-811-6600 FAX : 087-821-6960